

白浜レスキューネットワーク通信 1 月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

http://srnw.or.jp

e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク 理事長藤藪庸一

自殺者救済活動

1 月 1 日～1 月 31 日

相談電話件数 177 件

保護件数 3 件(男性 3 人)

帰宅件数 2 件(男性 2 人)

自主退所 1 件(男性 1 人)

自立件数 1 件(女性 2 人)

共同生活者数 7 人(男性 6 人、女性 1 人)

○男性を 2 人保護。相談を受ける。アパートはある。生活保護をもらっている。対人恐怖など悩みがある。

○男性を保護。行政からの依頼で男性を保護した。友人宅に 14 年間、居候していたという。その間に友人から借りたお金が数百万あるとのこと。一週間ほど滞在したが、ルールが守れず、共同生活者ともめることが多く、出て行くことに。後日、県の施設に入ることになった。
 ○女性 2 人が自立した。大学の近くの自立支援施設に加入して、サービスを受けながら大学復帰を目指すことに。大学近くにアパートも借りた。

生活自立支援活動

○まちなかキッチンで働く女性は、新年の目標で、自立をしていく方向性を告白。アパート探しが始まった。

○まちなかキッチンで働く男性は、声楽を習っているのだが、ピアノもなりたいとのこと。音楽の先生に相談中。

○町内の観光施設で働く 50 代男性は、今年もまじめに働いて借金の返済などに務めていく。
 ○心臓に持病を抱えている男性は、白浜に来る前からクリスチャンなのだが、礼拝メッセージへの応答が、ノートに記されるようになってき

た。

○4 月に保護した男性は、紀南病院に入院することになった。透析に入る予定。

○9 月から共同生活している男性は、仕事に関しては充実していると思う。

掃除や食事の準備、片付けをさぼるので、皆から指摘を受け、やり直すことに。

○農業と保養所で頑張っている 60 代男性は、年末のお餅つきが印象に残ったようだ。幼少期を思い出したり、話が弾んだ。

自殺予防活動

・フードバンク、フードドライブ

グルメシティ各店舗にご協力を頂いている。田辺市新庄の方、白浜町在住の方、神富田町の方、すさみ町の方にお米や食材を提供した。

白浜町社会福祉協議会からも食材の提供を受けた。

・明誠高校和歌山白浜SHIP(定時制高校)

1月20日～23日、スクーリングを行なった。全員出席で来た。

・農業

小松菜、ほうれん草、青梗菜をあぜみちや紀菜柑で販売した。

・ドキュメンタリー映画の撮影があった。

「取り残された人々」というドキュメンタリー映画を撮影している監督ライオン・マカヴォイさんが数日にわたって撮影を行った。出来上がったら、白浜でも上映したいとのこと。

・マンスリーサポーターを募集します。

寄付ページ

<https://syncable.biz/associate/shirahama-rescue>